



▲災害時の協力について協定を結びました

毎朝覗く水鉢の中で、水草の間をメダカが元気に泳ぎまわっています。見るからに涼げです。でも、人間界では、今年もマスクが手放せない暑い季節がやってきました。そんな中で、ワクチン接種が進んでいます。私もLINEで申し込んだ順番が回ってきて、6月26日にようやく1回目のワクチン接種を終えました。会場の都合で、私同様、2回目も4週間後となる方もいらっしゃるようですが、効果が下がることはないとのことですので、どうぞご安心下さい。今後も、国からのワクチン提供が滞らないことを願っています。

◆6月末に3つの協定を締結しました。「県立播磨南高校」につきましては、これまでも国際交流や大中遺跡まつりなど、いろいろな場面を若い力で盛り上げていただいております。今後はさらに、行政への理解も深めていただきながら、フレッシュな感性での提言に期待したいと思います。大塚製薬(株)との協定では、スポーツ・栄養ドリンク、バランス栄養食などの製造メーカーでもあることから、災害時での支援、健康づくり、スポーツ振興など、これまでになかった新たな分野での協力関係が生まれました。(株)東播自動車教習所は、これまでも、交通安全教室など地元企業として、大変お世話になっておりますが、今回の協定で、災害時に被災者の移送や物資の運搬、給電が可能な水素自動車の提供など、新たな連携が可能となりました。いずれの協定も大変心強く、有難く思っています。ありがとうございました。

◆2企業より、ご寄付をいただきました。(株)ミカリアからはユーグレナのサプリメントである「パラミロン」を。(株)トーカロからはコロナ対応への支援金を。ご厚意に心より感謝申し上げます。医療従事者への配布及び学校園等でのコロナ対策に役立たせていただきます。

播磨町長 清水ひろ子

## トピックス まちのわだい

### 瑞宝双光章 藤原文子さんが受章しました

瑞宝章は、公共的な業務等に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を上げた人に授与されます。

播磨中央こども園園長の藤原さんは、社会福祉施設の長として長年従事されたご功労に対し受章されました。



▲播磨中央こども園で撮影。藤原文子園長

### 播磨町と大塚製薬株式会社との包括連携に関する協定を締結しました

企画グループ ☎079(435)0356



▲清水町長と吉田支店長

6月24日、播磨町と大塚製薬株式会社が包括連携に関する協定を締結しました。

この協定により、健康づくり、食育、スポーツ振興、災害等非常時における支援など幅広い分野において連携・協力を進め、安心して暮らせる地域づくりと健康的な生活の実現をめざします。

### 東播自動車教習所と「災害時における自動車等の支援協力に関する協定」を締結しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町は、令和3年6月25日、株式会社東播自動車教習所と「災害時における自動車等の支援協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害が発生した場合に、株式会社東播自動車教習所が保有する送迎用バス・水素自動車などの車両を無償で貸与いただくとともに、運転手として社員を派遣いただくことで、災害時における避難者などの輸送や水素自動車による給電などに活用できるといった内容となっています。

協定の締結に当たり、播磨町役場にて調印式が実施されました。



▲清水町長と山口社長

### 播磨町と兵庫県立播磨南高等学校との連携協力に関する協定を締結しました

企画グループ ☎079(435)0356

6月23日、播磨町と兵庫県立播磨南高等学校が連携協力に関する協定を締結しました。この協定は、活力のある地域社会の実現や地域の課題に対応するために、両者が多種多様な分野で連携・協力した活動をより一層深化させることを目的に締結しました。

兵庫県立播磨南高等学校とは、これまでにも様々な分野について連携して取り組んでいましたが、この協定により、さらに多くの分野において連携・協力を進め、活力ある地域社会の形成及び発展を図ります。



▲協定書を手にする清水町長と吉田校長

## キャンパスだより

### 1学期の取り組み 播磨南中学校3年生



▲クラス対抗50問テスト

ができていません。

今年度はコロナ禍の影響で5月に予定していた修学旅行が延期され、部活動も時間や日程が制限され、思うような活動ができていません。そのような中、昨年度より実施していた、「クラス対抗50問テスト」を引き続き行いました。これは、各教科の基礎的な内容の問題をあらかじめ知らせておき、テストまでにできるようにマスターし、クラスで平均点を競う取り組みです。今学期は、国語と数学で実施し、どちらも高い平均点をとれました。テスト前には、もくもくと暗記をする生徒や、クラス内で問題を出し合ったり、やり方を教え合ったりする風景が見られ、学習意欲の向上につなげることができて良かったと思います。

取り組みを通して、学んだのはやはり「基礎基本」と「生活環境」の大切さです。基礎基本の徹底ができていなければ、砂上の楼閣であり、積み上げができません。根気よく家庭でも学習の定着ができるよう、呼びかけていこうと思います。また、1日の3分の1を過ごす生活空間であるクラス的环境や雰囲気も大切です。個々に進路は違えど、共に頑張る雰囲気を維持することの大切さも、テストを通して実感しました。この取り組みは今後も継続させていきたいです。

## わんぱくはりまっこ



おく 生奈ちゃん・ゆいな 由奈ちゃん・ゆうせい 侑生くん (古宮)

3人仲良く、すくすく育てね (パパ、ママより)

※撮影時の年齢、名前は写真の左から順に表記。

## 楽屋裏

よりよい町広報をめざし、広報紙の見直しを考えています。

「播磨町の広報について」と題して、メールでご意見・ご感想をお受けしています。広報紙やSNSを使った広報で、播磨町のこんなことを知りたい、他の市町のこんな広報を参考にしたい、ということをお知らせください。一つ一つに対してお返事はできませんが、今後の参考にさせていただきます。(宮) kikaku@town.haima.lg.jp